

米の浸漬は1時間でOK。焼成時にタテ浮きし、食感が良くなります。

MDAかきやま・あられの製造

米の浸漬・型どり冷却・蒸し時間

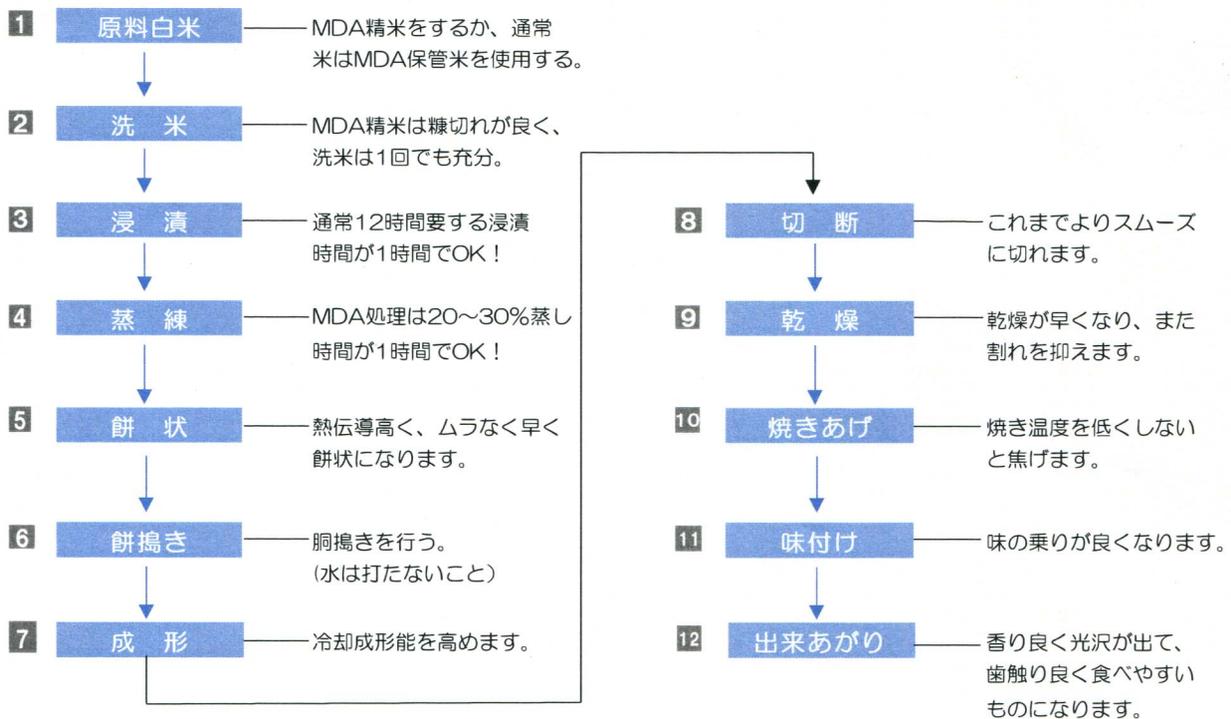
大幅なコストダウンが出来ます



かきやま、あられ MDA 製造設備の概要

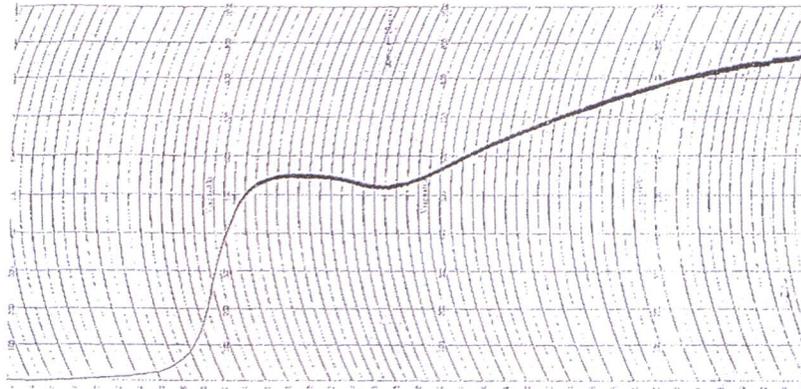
- ①炭素埋設工事（防虫・虫の蛹集抑制・敷地内雑菌の抑制・機械電気アースの改善）
- ②原料米 MDA 精米または保管工事
- ③マイナスイオン帯電水製造設備
- ④冷蔵庫成形・冷却 MDA 設備
- ⑤米浸漬槽強制浸透設備
- ⑥MDA 電子シャワー空気浄化装置

かきやま・あられ製造の流れ

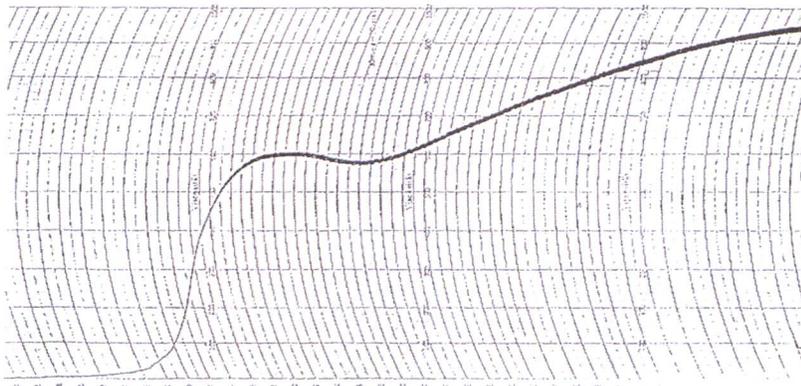


粘度特性試験 アミノグラフ 原料米をMDA精米したものと、普通精米したものの比較

通常精米の粘度



MDA精米の粘度



新潟コシヒカリ 試験先 BB社(株)

結 果

	MDA米	通常米
糊化開始温度	81 °C	81 °C
最高粘度	600 Bu	550 Bu
時温度	96 °C	96 °C
最低粘度	580 Bu	520 Bu
時温度	87 °C	85.5 °C
ブレイクダウン	20 Bu	30 Bu
30°C粘度	960 Bu	920 Bu

MDA精米は粘度特性に優れる。このため米菓などのかきやまや、あられば焼成した時タテ浮きし、食感が良く食べやすいものになるという結果が出た。